

りか だより 第2号

第1号から2週間近くがたち、ずいぶんあたたかくなってきました。

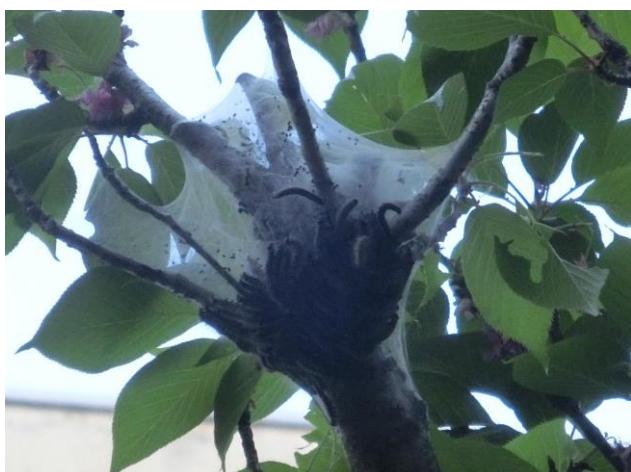
今回は学校でみつけたほかの生き物のようすや自然の観察のしかたです。

学習園のそばではダンゴムシがたくさん。元気よく動いていました。

ほかにもう1つ生き物がいます。見つかりましたか？もう少しじっくり見てましょう。見つかりましたか？土の中にはもっとたくさんの生き物がいそうです。



もう1つ見つけました。葉だけになったサクラの木に毛虫がかたまりになって動いています。葉



を食べてどんどん大きくなっていますよ。チョウかガのよう虫ですが、何のよう虫かはわかりません。わかる人はぜひ教えてください。

さて、みなさんはおうちでマリーゴールドのたねの観察をします。観察とは、ものをじっくりていねいに見たり、におったり、さわったりして調べることです。

ところで、自然の中には、さわるとさされたり、かぶれたり、はれたりする危険な生き物もたくさんいます。草木や虫は、生きるために自分のからだを守ろうとしているのです。危なそうな生き物やよくわからないものはさわらないないようにしましょう。  **教科書9ページ**

観察記ろくのかき方

- ① ワークシートに、**日づけ**と**名前**を書きます。
- ② たねをじっくり観察して、わかったことや気づいたことを書きます。
- ③ できるだけていねいに絵をかきます。色えんぴつで細かいところもぬります。

観察のポイントは、つぎの7つです。

かたち

かたち

まるい・とがっている・細い・太いなど、そのものの形です。

いろ

いろ

こげ茶色・うすいピンク・白っぽい・赤と茶色のもようなど…

おおきさ

おお

大きさ

ごまつぶくらい・米つぶくらい・1mmのはんぶんくらい…

てざわり

て
手ざわり

ざらざらしている・つるつるしている・すべるような感じ…

すう

かず

数

(花やこん虫などを観察するときにたいせつです)

におい

にお

い

(花や葉を観察するときにたいせつです)

きく

おと

音

き

(虫の観察やこれからの理科学習でたいせつです)

じゅもんのように

「か・い・お・て・す・に・きく」

とおぼえましょう。

ほかに、「毛のようなものが生えている」「光っている」など、気づいたことをどんどん書いていきます。

ただし、たねが声を出すことはありません。だから「きく=音」について書かなくてもかまいません。「て=手ざわり」もよくわからないと思うので、むりに書く必要はありません。

大切なことは、「ていねいに絵をかくこと」「気づいたことをしっかりと言葉であらわすこと」です。

➡ 教科書 11・12・16 ページ

虫めがねのつかい方

教科書 11 ページを見てみましょう。

虫めがねを使ったことがある人は、たくさんいると思います。また、使ったことがない人でもすぐになれるはずです。気をつけないといけないことは、ぜつたいに太陽の光を見てはいけないということです。強い光を見ても目をいためがあるのでやめましょう。

➡ 教科書 11 ページ

学習かだい 2

マリーゴールドの種をまく

教科書の 17 ページをさんこうにして、マリーゴールドの種をまきましょう。

ホウセンカ・ヒマワリの種は学校でまいておきます。

コツはあまり土をかぶせすぎないことです。種をまいたら土が少ししめるいどに水をあげましょう。そして、毎日の水やりをわすれないようにしましょう。

次回の学習は、種まきの様子とチョウの観察です。

かだい 1 のワークシートと虫めがねは、
5月 21 日(木)の登校日に持ってきます。
ポットと土はおうちにおいて観察します。

